



第 6 回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム

The 6th International Collaboration Forum of Human Gene Therapy for Genetic Disease (ICFHGTGD)- -Open New Era of Human Gene Therapy-

日付：2016年1月21日（木）午前10時—午後7時

会場：東京慈恵会医科大学大学1号館3階講堂

9:00-9:50 AM

幹事会

10:00-10:30 AM

当番幹事挨拶

衛藤 義勝（第6回大会長）

厚生労働省健康局難病対策課課長

松原 和徳

内閣府特命担当大臣（少子化対策担当、男女共同参画担当）及び一億総活躍担当、女性活躍担当）

加藤 勝信 衆議院議員

10:30-11:00

会長講演： New Opening Era of Human Gene Therapy for Genetic Disease

-

衛藤 義勝 (chair, 6th Meeting, Jikei Univ)

11:00-11:30

特別講演

Editing Gene Therapy—最近の進歩

三谷 幸之介（埼玉医科大学ゲノム医学研究センター）

11:30-12:10

招待講演 1

血友病・先天性盲疾患遺伝子治療

Prof. Katherine High（ペンシルバニア大、Spark Co.）

Education Seminar (Lunch)

12:20-13:00

教育セミナー（タカラバイオ株式会社）

13:10-17:00

遺伝病遺伝子治療の最前線—日本並びに欧米の臨床試験

13:10-14:20

(I) 網膜疾患&神経筋疾患の遺伝子治療

1. 網膜色素変性症に対する遺伝子治療—池田康博 (九州大学)
2. 筋ジストロフィーに対する遺伝子治療—武田伸一 (国立精神・神経医療研究センター)
3. ハンチントン病の遺伝子治療—Seng Cheng (Genzyme Co. USA)

14:20-15:10

(II) 免疫疾患&血友病遺伝子治療

1. 慢性肉芽症 (CGD) —河合利尚 (国立成育医療研究センター)
2. 血友病Aの遺伝子治療—Barrie Carter (BioMarine Co., USA)

15:10-16:30

(III) 先天性代謝異常症の遺伝子治療

1. AADC欠損症の遺伝子治療—山形 崇倫 (自治医大)
2. ムコ多糖症 IIIA の遺伝子治療—Michaël Hocquemiller(Lysogene, France)
3. ムコ多糖症 IIIB の遺伝子治療—Charles Richard (uniQure. Netherlands)

16:30-16:40 休憩

16:40-17:25

招待講演 2 - 先天性免疫不全症の遺伝子治療

Prof. Alessandro Aiuti M.D. PhD*

San Raffaele-Telethon Institute for Gene Therapy, Italy

17:25-18:10

招待講演 3 - 遺伝子治療法—最新の技術の進歩 (仮)

Prof. Fulvio Mavilio, Scientific Director Genethon,(France)

and Prof. Molecular Biology, University of Modena and Reggio Emilia, Italy

18:10-18:40 全体討論

18:40-19:00 ご挨拶

日本遺伝子治療学会理事長 金田 安史 (大阪大学)

第7回次回大会長 小野寺 雅史 (国立成育医療研究センター)

19:30-21:00

Banquet